



# 令和8年 2月号 園だより

江戸川区立船堀幼稚園

—教育目標—  
元気な子ども  
明るい子ども  
考える子ども  
思いやりのある子ども

園長 東 美和

## ～鬼は外！福は内！～

朝晩とても厳しい寒さが続いています。本園の冬のお楽しみのひとつは『池で氷を見つける』ことです。先生と一緒に池に行き、氷を発見！触って持ち上げて「冷たい！」「きれい～」と歓声が上がっていました。今年は日増しに氷が厚くなっています。ある子は池を見つめながら「ここでスケートできそう…」とつぶやいていました。

もうすぐ節分。子どもたちには絵本を読んだり、鬼のお面を作ったり、豆まきの用意をする姿が見られます。文部科学省の幼稚園教育要領では『日常生活の中で、我が国や地域社会における様々な文化や伝統に親しむ』と示されており、園生活で様々な文化や伝統に親しみ、豊かな体験ができるようにしています。子どもたちは家庭や地域の中で、日本の伝統文化に触れることが難しくなっている今、テレビやスマートフォンの情報で見るだけではなく、直接体験できる教育活動が必要になります。例えば12月にPTAや学校応援団の皆様と共にもちつきをしました。釜戸（かまど）の上に乗せたせいろでもち米を蒸し、臼（うす）と杵（きね）で、もちをつくことを体験できました。もう少し前には、園庭の落ち葉を集めて、たき火で焼き芋をしました。どちらの行事もほとんどの子どもたちは初めてでしょう。みんな心躍らせて参加していました。東京ではなかなかできない体験ですが、保護者や地域の皆様のご協力で、実現できたことに感謝しております。

ちなみに、節分でなぜ豆をまくのでしょうか。節分は「立春（りっしゅん）」です。季節の変わり目には体調を崩しやすい、悪いことが起こりやすいと考えてられていました。そのため病や災い（＝鬼）を、豆で追い払うようになったと言われています。園内で子どもたちと共に「鬼は外！福は内！」と言いながら思い切り豆をまき、子どもたちの心の中にいる鬼もやっつけて、春に向けてのパワーを蓄えていきたいと思っています。



池で氷を見つけたよ！



ばら組  
転がしドッジボール  
ボールから逃げよう



星の組 鬼のお面作り



ばら組 お面をつけて遊ぼう